

地域福祉型研修センター機能の検討について

「地域を基盤としたソーシャルワーカーリーダー養成研修」開催報告

<研修目的／ねらい>

『堺あったか・ぬくもりプラン3』（第3次堺市地域福祉計画・第5次堺市社協地域福祉総合推進計画）の「地域福祉型研修センター機能の検討」に向けた取り組みとして、今年度試行的に堺市内の各専門職に対して「地域を基盤としたソーシャルワーカーリーダー養成研修」を開催した。今後、地域住民向けの研修や、専門職と地域住民の協働をすすめる研修などを企画検討の予定。

<開催方法等>

■開催方法

研修は地域を基盤としたソーシャルワークの諸機能を基礎編・実践編の2部で構成

<基礎編>学識者からの講義中心、理論や概念を学ぶ

<実践編>堺での実践をベースとした事例報告やワークをもとに、地域からのニーズのひろい方や地域とともに課題を解決する方法などを検討する

■開催日程／研修テーマ ※詳細については裏面参照

基礎編・実践編で1セットの連続講座（全5回） 会場：堺市総合福祉会館5階大研修室

第1回：平成27年11月 9日（月） 9：30～14：30

（テーマ）地域を基盤としたソーシャルワーク

第2回：平成27年12月 7日（月） 13：00～17：10

（テーマ）個別支援のためのソーシャルサポートネットワークづくり

第3回：平成27年12月25日（金） 13：00～17：10

（テーマ）多職種協働のためのネットワークづくり

第4回：平成28年 1月 6日（水） 13：00～17：10

（テーマ）地域福祉の視点と堺市の地域福祉活動

第5回：平成28年 1月14日（木） 10：00～17：10

（テーマ）課題集約と社会資源開発

オプション講座：平成27年11月19日（木） 18：30～21：00

（テーマ）ホワイトボード・ミーティングを学ぶ

※ 関西大学 人間健康学部 准教授 所 めぐみ 氏と協働で企画・開催

<参加者>

■申込人数：52名（社協CSW含む）

<内訳>地域包括支援センター（14名）、障害者基幹相談支援センター（8名）、社貢献CSW（3名）、大阪府社会貢献推進室職員（1名）、行政相談部署（6名：区役所地域福祉課4名／区役所生活援護課2名）、社協内部署（19名：基幹型包括5名／Cow1名／日常生活自立支援事業1名／権利擁護サポートセンター1名／すてっぷ・堺1名／包括支援センター統括課3名／CSW7名）、その他1名（施設職員）

■研修への参加目的（解決したい課題） ※研修受講前のアンケートより抜粋

（地域組織との関わり・協働について）

- ・地域の民生委員や校区福祉委員会との関わり方、協働の仕方
- ・生活課題を抱える人に対する地域住民の支援をどのように進めるか、どのように住民の理解と共感を得るか

（関係機関・専門職との連携・協働、役割分担について）

- ・それぞれの場面のワーカーの視点、職種の違いによる支援視点の違い
- ・役割分担を明確にしチームの中の自身の位置づけを理解し、他チームの方と上手く連携する際のポイント

（その他）

- ・地域福祉の理解、各区が抱える福祉的課題の特徴、課題集約のみえる化と社会資源開発のプロセス

<開催内容等>

■第1回(11/9開催) 参加人数: 51名

<おメンテナンス>説明「研修の開催背景・ねらい、社会的意義」

堺市高齢施策推進課 富田 忍、堺市社協 地域福祉課 所 正文

関西大学 所 めぐみ 先生

<基礎編>講演「地域を基盤としたソーシャルワーク理論」大阪市立大学 岩間 伸之 先生

<実践編>実践事例報告「個別支援から地域での新たな活動への展開」堺区事務所 濱田 健右

ワークショップ: グループでの共有「事例の振り返りと共有」

■第2回(12/7開催) 参加人数: 46名

<基礎編>講演「個別支援でのソーシャルサポートネットワークづくり」関西大学 所 めぐみ 先生

<実践編>実践事例報告「複合多問題世帯支援におけるソーシャルサポートネットワークづくり」

中区事務所 山田 浩己、中区基幹相談支援センター 田渕 誠 氏

ワークショップ: ホワイトボードを活用したアイデア出し「つながる時のルール、アイデア出し」

■第3回(12/25開催) 参加人数: 47名

<基礎編>講演「多職種協働のためのネットワークづくり」大阪教育大学 新崎 国広 先生

<実践編>実践事例報告①「北区つながりサポーター事業」

北第2地域包括支援センター 阪田 篤美 氏

堺市社協北区事務所 藤本 浩一

実践事例報告②「地域における障害者支援」

特定非営利活動法人ぴーす 小田 多佳子 氏

■第4回(1/6開催) 参加人数: 49名

<基礎編>講演「地域福祉の視点と堺市の地域福祉活動」

大阪府立大学 小野 達也 先生、堺市社協 地域福祉課 川端 伸明

<実践編>実践事例報告「地域との協働実践～見守りガイド、引越し便利帳の協働開発～」

堺市社協南区事務所 植田 温子

土師校区民生委員児童委員会 中辻 さつ子 氏

ワークショップ: 増進型福祉ワークショップ

■第5回(1/14開催) 参加人数: 40名

<基礎編>講演「課題集約と社会資源開発」桃山学院大学 松端 克文 先生

実践事例報告「みんなの困りごとをみんなに便利なものに」堺市社協東区事務所 宮崎 浩二

<実践編>ワークショップ: 日常的に課題集約する方法、場の検討「区域ごとの課題・アイデアだし」

<まとめ>講演「研修修了生にのぞむこと」関西大学 所 めぐみ 先生

<修了式>修了証授与

■参加者からの意見 ※アンケート自由記述より抜粋

- ・地域福祉についての考え方や方法が、具体的な事例報告があったことでより深まった。
- ・自身の所属する機関の役割と、他機関との協働について再考するよい機会になった。
- ・ワークショップのなかで活用した技術は、今後の業務に実際に活かすことができると感じた。
- ・同じ区の支援者同士で学びを共有でき、地域福祉について関係機関と意見交流できたことが有益だった。
- ・全5回の参加は難しいため、目的別の研修を開催してほしい。
- ・とても盛りだくさんの内容で、もっと深めて聞きたいと思うこともあった。

<今後の展望>

- ・大学等と連携しながら、先進的に研修を実施している取り組みの視察、情報収集と研究を行う
- ・研修に対する評価、効果検証(意識面、行動面、影響面)と本格実施に向けた研修内容の再構成
 - ⇒ 研修受講者に対し研修直後と半年後にヒヤリングを実施(研修効果の確認)
 - ⇒ 既存研修との整合性の確認
 - ⇒ 地域住民向け、専門職向け、地域住民と専門職の連携のための研修等の対象別研修の検討